

令和5年度

美しい“ふじのくに” まち・ひと・しごと創生
総合戦略 評価の概要

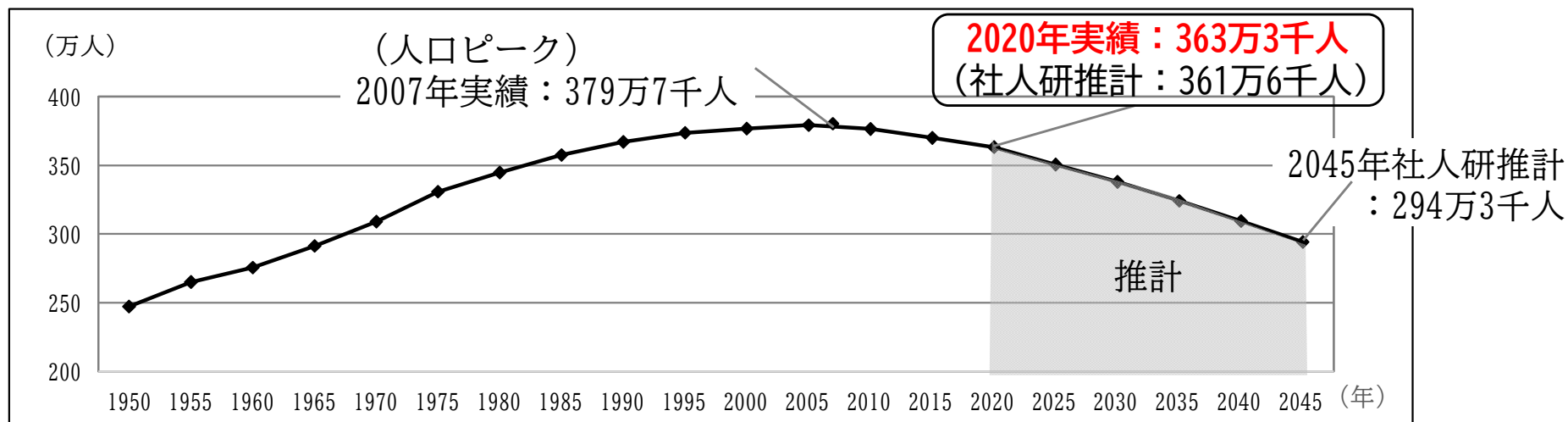
令和5年8月



本県の人口減少の現状

本県の人口減少の現状

本県の人口推移と将来推計人口



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

本県の人口動態

(単位：人)

区 分	人口増減 (A+B)	社会増減 (A)	自然増減		出生数	死亡数
			転入	転出		
2015年	△15,487	△4,667	147,790	△152,457	29,078	△39,898
2016年	△13,754	△2,696	145,261	△147,957	28,423	△39,481
2017年	△13,850	496	149,766	△149,270	26,930	△41,276
2018年	△16,478	△234	151,977	△152,211	25,940	△42,184
2019年	△17,981	△5	152,862	△152,867	24,292	△42,268
2020年	△22,221	△3,059	140,541	△143,600	23,297	△42,459
2021年	△27,960	△6,940	133,111	△140,051	22,429	△43,449
2022年	△24,602	1,463	148,788	△147,325	21,285	△47,350

美しい“ふじのくに” まち・ひと・しごと創生 総合戦略の評価

美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

本総合戦略では、**5つの戦略**ごとに**目指すべき方向性**を掲げ、それぞれの戦略に位置づけられる**65の施策パッケージ**により取組を進めている。

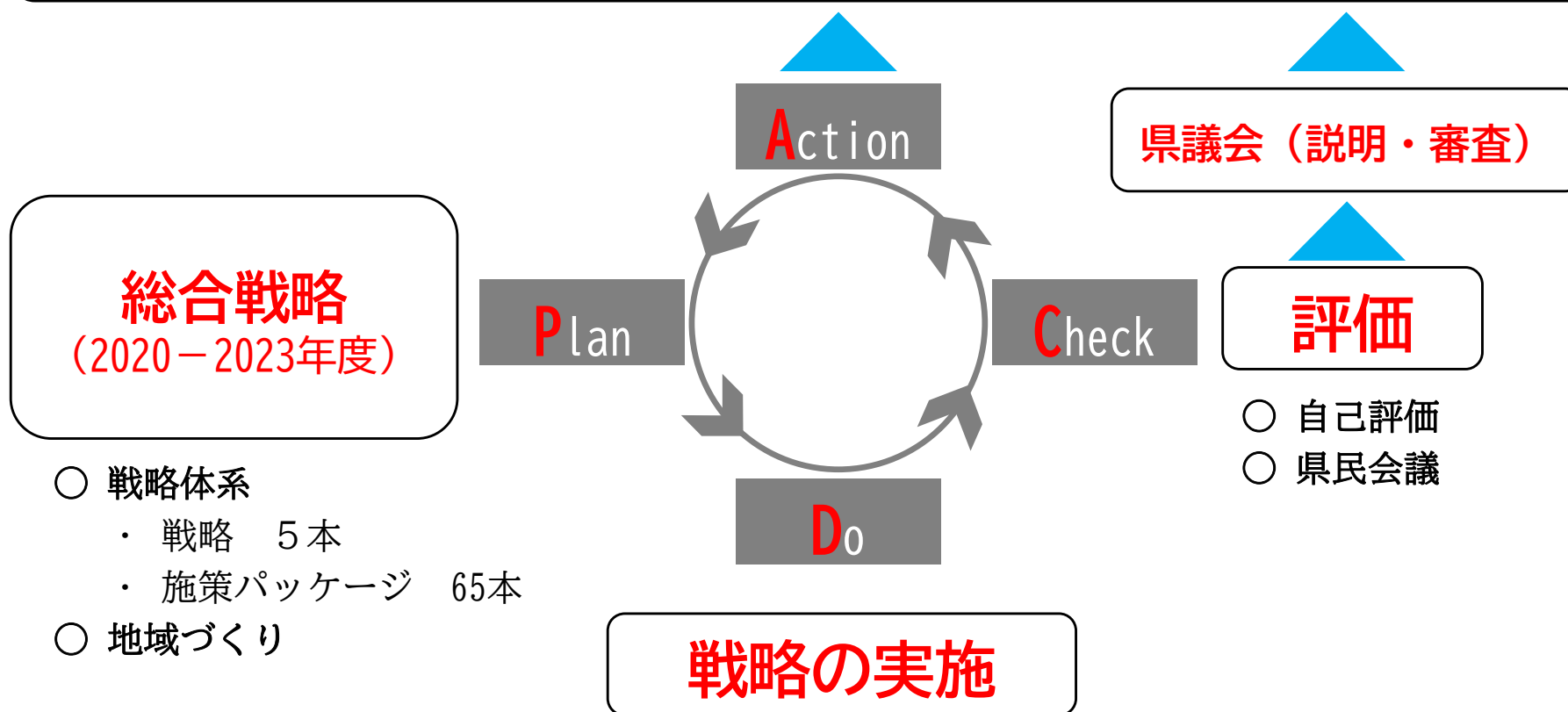
戦略体系	目指すべき方向性	施策パッケージ
<戦略1> 「命」を守り、日本一「安全・安心」な県土を築く	▶ 想定される大規模地震・津波による犠牲者数の最小化	▶ 10
<戦略2> 誰もが活躍できる、魅力ある雇用を創出する	▶ 就業者数の増加 一人当たりの県民所得の増加	▶ 11
<戦略3> “ふじのくに”ならではの魅力ある暮らしを提供し、新しい人の流れをつくる	▶ 人口の社会増減率の増加	▶ 12
<戦略4> 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる	▶ 合計特殊出生率の向上	▶ 14
<戦略5> 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する	▶ 「地域の絆や支え合いの仕組みが形成されている」と感じている人の割合の増加	▶ 15

美しい“ふじのくに” まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価

PDCAサイクルの流れ

施策展開に反映

評価結果に基づき、施策の見直し・重点化、新規施策の打ち出し



美しい“ふじのくに” まち・ひと・しごとと創生総合戦略の評価

スケジュール

時期	総合戦略の評価	総合計画の評価
R5 . 6月	自己評価	
7月		
8月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red; text-align: center;"> 県民会議（第1回） ※意見を総合計画評価に反映 </div>	
9月		評価部会
10月		総合計画審議会
11月		パブリックコメント
12月		12月議会
R6 . 1月	県民会議（第2回）※書面	評価書 公表

美しい“ふじのくに” まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価

令和5年度の評価方針

1 重要業績評価指標（KPI）の評価

アウトカム指標である「成果を測る指標」とアウトプット指標である「進捗を測る指標」について、次の評価区分により評価を実施する。

成果を測る指標 区分	判断基準
目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
A	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
B	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
C	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

進捗を測る指標 区分	判断基準
◎	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超えのもの
○	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
●	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

2 今後の取組方針の明示

アウトカム指標である成果指標について、課題の要因分析を行い、課題解決に向けた今後の取組方針を明示する。

指標の評価

評価結果

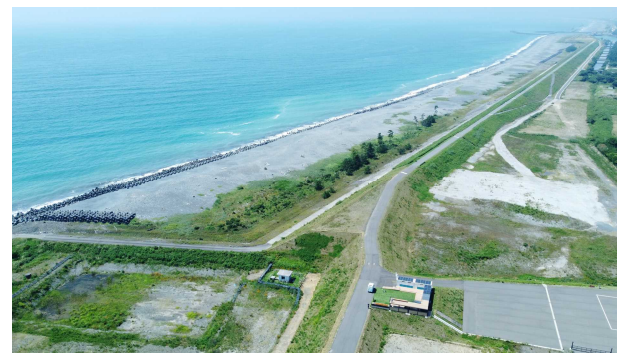
	成果を測る指標							進捗を測る指標				
	目標値 以上	A	B	C	基準値 以下	—	計	◎	○	●	—	計
戦略1	1	0	2	3	3	2	11	3	12	7	1	23
戦略2	5	3	5	5	5	18	41	30	24	15	12	81
戦略3	8	3	8	6	11	18	54	15	28	31	7	81
戦略4	2	0	6	3	3	2	16	10	15	9	4	38
戦略5	6	2	4	2	1	8	23	13	14	9	6	42
合計	22	8	25	19	23	48	145	71	93	71	30	265
	56.7%							69.8%				
コロナ影響指標	0	0	3	3	10	6	22	2	4	16	1	23
合計 (コロナ影響指標除く)	22	8	22	16	13	42	123	69	89	55	29	242
	64.2%							74.2%				



今後の取組方針(戦略別)

戦略1：「命」を守り、日本一「安全・安心」な県土を築く

- ✓防潮堤等の着実な整備や県民の早期避難意識の向上など、**地震・津波対策アクションプログラム2023の推進により更なる地域の防災力を強化**
- ✓感染症の発生・まん延防止に向け、ICTを活用した**情報プラットフォームの構築により、業務効率化や情報発信機能を強化**
- ✓県補助金等により、**ふじのくにフロンティア推進エリア形成に向けた市町の地域づくりを支援**
- ✓河川改修や雨水貯留浸透施設の整備など、**浸水被害軽減対策を推進**



フロンティア推進エリアにおける
防災・減災対策のための防潮堤整備
(吉田町)



浸水被害を軽減させる
沼川新放水路の整備(沼津市)

今後の取組方針(戦略別)

戦略2：誰もが活躍できる、魅力ある雇用を創出する

- ✓ TECH BEAT Shizuokaによるマッチング支援の強化により、**スタートアップと県内企業との協業を促進**
- ✓ 中小企業者の業績回復等のため、**新事業展開や現場の経営改善活動を指導するリーダー養成を支援**
- ✓ 農産物の生産性向上のため、**スマート農機等の現場実装や環境制御システム等のデータ利活用を促進**
- ✓ **デジタル林業戦略拠点の構築**や需要に応じた木材生産の最適化により、**県産材の効率的な供給・流通体制を確立**
- ✓ 持続可能な水産経営のため、**漁業現場や市場のデジタル実装に加え、主要魚種の研究や食害対策などを推進**



スタートアップと県内企業のマッチングを行うTECH BEAT Shizuoka



ドローンによる農薬散布

今後の取組方針(戦略別)

戦略3：“ふじのくに”ならではの魅力ある暮らしを提供し、新しい人の流れをつくる

東アジア文化都市2023静岡県

中韓の選定都市との文化交流をはじめ、本県独自の文化芸術、スポーツ、食、ファッション、温泉、旅、花・庭、多文化共生などの事業を全県下で幅広く展開。

R5. 2月



東アジア文化都市宣言
(富士山の日フェスタ2023)

R5. 5月



SPAC特別公演
「天守物語」(春の式典)



「浜名湖花博2024」
プレイベント

R5. 6月



パラスポーツ推進コンソーシアム
準備会発足記念シンポジウム

R5. 9月～11月(コア期間)

- ・伊豆文学祭(仮称)
- ・国際オペラコンクール
- ・秋の祭典



文化芸術イベントを
集中的に実施

浜名湖花博2024

人・自然・テクノロジーの架け橋 ～レイクハマナ デジタル田園都市～
花と緑のすばらしさを実感できる花の修景やデジタル技術を活用した展示など、花と緑とテクノロジーが織りなす心豊かな理想空間を創出し、「デジタル田園都市構想」のロールモデルを提示。



黄金KAIDOプロジェクト

中央日本四県が連携し、エリア内を縦断する高速道路を活用した広域周遊の促進や、徳川家にゆかりのあるスポットを巡るイベントの実施などにより、観光誘客を一体的に促進。

「黄金KAIDO」とは、四県の金山を結ぶ陸路と海路のルート。
佐渡金山(新潟県)、金鷄金山(長野県)、湯之奥金山(山梨県)、土肥金山(静岡県)



今後の取組方針(戦略別)

戦略3： “ふじのくに” ならではの魅力ある暮らしを提供し、新しい人の流れをつくる

- ✓ スポーツコミッションShizuokaを中核に、地域資源を活用した**スポーツ交流やスポーツ大会・合宿の誘致によるスポーツの聖地づくりを推進**
- ✓ 地産エネルギーの導入事例集や助成金を活用し、**事業者の計画策定から導入までの支援を強化**
- ✓ 広い空き家への住み替え促進のため、住まい方の情報発信等により**「ふじのくに空き家バンク」の取組を強化**
- ✓ 国際社会で活躍できる人材を育成するため、**探究学習を特色とする国際バカロレア教育の導入を目指す「静岡県立ふじのくに国際高等学校」を開校**



地域材を活用した
木質バイオマス発電所(小山町)



探究学習の様子(三島市)

今後の取組方針(戦略別)

戦略4：若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる

- ✓結婚の希望を叶えるため、婚活イベント等の周知や結婚生活に係る経済的支援など、**市町と連携し、出会いから結婚後の新生活まで一体的に支援**
- ✓産後の多様な支援ニーズを抱える家庭へきめ細かなケアを実施できるよう、**職員の資質向上に向けた研修実施等により、市町の相談体制を強化**
- ✓ひとり親サポートセンターにおける就業相談や、**企業側のニーズをより具体的に把握し、希望に合った就職を支援**
- ✓幼児教育アドバイザー等の資質向上のため、**県の幼児教育サポートチームと市町等が協働で訪問支援を実施**



ふじのくに出会いサポートセンターによる婚活イベントの様子



幼稚園における幼児教育の様子

今後の取組方針(戦略別)

戦略5：時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する

- ✓ 介護職員不足解消に向け、外国人材とのマッチング支援や業務改善の優良事例周知により人材を確保
- ✓ 多文化共生の場づくりのため、地域日本語教室ネットワークの構築や教室運営に携わる人材養成を推進
- ✓ “ふじのくに” 地域公共交通計画を策定し、持続可能で利便性の高い公共交通サービスの提供体制を構築
- ✓ 「静岡県生成AI活用ガイドライン」に基づき、飛躍的な発展が進む生成AIを積極的に活用し、業務効率化及び行政サービスを向上



地域日本語教室における「やさしい日本語」の普及



提供：(合)うさぎ企画
利便性の高い公共交通サービス
(デマンド交通)の様子

本県の重点課題に対する取組状況



足許の人口減少を踏まえた要因の分析

主な現状

①

- ・若者約6,000人の転出超過、女性比率が高い。
- ・静岡県に「やってみたい仕事がない」。
- ・新規大卒者の3年以内離職率は約3割。
- ・県内大学新規大卒者の県内就職率は約6割。

②

- ・移住者数は2,634人、8割以上が子育て世代。
- ・近年、テレワーク移住者が急増。
- ・移住者は移住前から静岡県に「好きな場所」等があるという関係性。

③

- ・子どもを持たない理由は「子育てにお金がかかり過ぎる」。
- ・女性は出産を機に約5割が離職。
- ・復職時は「仕事についていけるか」等が不安。

重点課題

- ◆若者・女性の雇用の受け皿づくり
- ◆県外離転職者等の県内就業の促進
- ◆県内新規大卒者等の県内就業を促進
→若者・女性の県内への就業の拡大

- ◆多様化する暮らしのニーズへの対応
- ◆移住につながる事前の「関係性」づくり
→若者・子育て世代の移住の拡大

- ◆出産・育児期の就業継続
- ◆離職者の復職等を促進
→子育てと両立できる働き方の導入



重点課題に対する取組状況①

重点課題1：若者・女性の県内への就業の拡大

◆若者・女性の雇用の受け皿づくり

✓イノベーション拠点「SHIP」を活用し、**高度ICT人材の育成、交流促進、ビジネスマッチング**などを展開

✓企業進出に係る助成制度を創設し、若者・女性に人気のある**情報通信やデザイン等のサービス業の誘致**を強化

◆県外離転職者等の県内就業の促進

✓県外の若者を本県に呼び込むため、新たに学生の取材による企業の情報誌を発行する等、**学生目線での県内企業の魅力のPR**を強化

◆県内新規大卒者等の県内就業の促進

✓就職先決定前の大学1、2年生を対象とした、**企業理解を促進するためのキャリア教育プログラム**を構築



イノベーション拠点「SHIP」の会員による
異業種間交流会



進出したサービス企業のオフィス(焼津市)

重点課題に対する取組状況②

重点課題2：若者・子育て世代の移住の拡大

◆多様化する暮らしのニーズへの対応

- ✓ 県の魅力を生かしたワーケーション拡大に向け、ワーケーションの受入を行う市町の支援のほか、Webサイトやイベントによるマッチングを促進
- ✓ 東京圏の移住関心層に向け、本県在住のテレワーカーとの交流会等を通じて、移住者の更なる増加を促進



東京圏在住者と本県在住の
テレワーカーとの交流会

◆移住につながる事前の「関係性づくり」

- ✓ 移住予備群となる関係人口創出に向け、フィールドワークの実施を通じた県外在住の学生との関係づくりを強化
- ✓ 観光誘客拡大のため、地域連携DMO等と連携したガストロノミーツーリズム、感動体験ツーリズムの取組を強化



ガストロノミーツーリズム
(つちや農園、川根本町)

重点課題に対する取組状況③

重点課題3：子育てと両立できる働き方の導入

◆出産・育児期の就業継続の促進

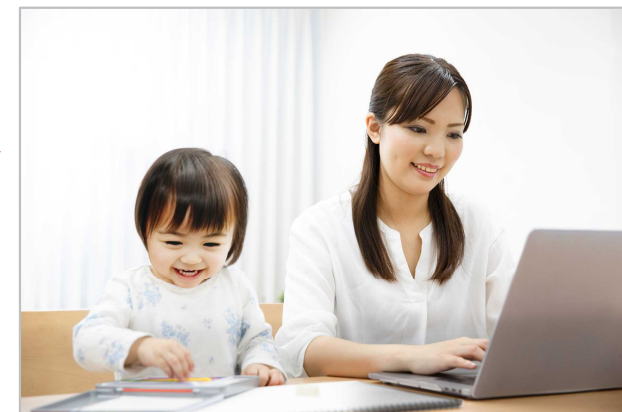
- ✓ 子育てサポート企業として認定される「くるみん認定」の取得促進に向け、**県内企業への巡回訪問支援を実施**
- ✓ 女性活躍の推進のため、「女性役職者育成セミナー」や「女性活躍加速化フォーラム」等を通じて**経営者の意識改革を促進**

◆離職者の復職等の促進

- ✓ 時間や場所に縛られない「新しい働き方」である**クラウドワークの普及啓発を図るとともに、ワーカーのスキルアップや受注支援を実施**
- ✓ 保育所及び放課後児童クラブの待機児童を解消するため、**保育士や放課後児童クラブ支援員の人材を確保**



「くるみん」認証マーク



クラウドワークサービスでの勤務の様子